

国名(日本語)	<b>グアテマラ共和国</b>
国名(英語)	<b>Republic of Guatemala</b>



国名の由来	現在の首都グアテマラ市につけられたアステカ地名のクアウテメラン(森の多い土地)をスペイン語化したもの。古代マヤ文明が開化した地で、数々の王国が栄えた。16世紀スペインに征服され、1821年にグアテマラ総督管区がスペインからの独立を宣言。一時メキシコ帝国に編入されたが、1823年再独立して中米5カ国で中央アメリカ連邦を結成、38年連邦分裂で単独国家となった。
国旗の由来	紋章に描かれた国鳥「ケツァール」は自由のシンボルで、飼育がむずかしく誰にも飼うことができない(支配されない)「自由の鳥」として大切にされている。交差した銃剣と刀は正義と自由の守りを、月桂樹は勝利と栄光を象徴し、巻物には独立記念日の「自由1821年9月15日」と記されている。青は太平洋とカリブ海、白は平和の願いを表す。
1 面積	108,889平方キロメートル(北海道と四国を合わせた広さよりやや大きい)
2 人口	約1,634万人(2015年 世界銀行)
3 首都	グアテマラシティー
4 言語	スペイン語(公用語)、その他に22のマヤ系言語他あり。
5 宗教	カトリック、プロテスタント等(信教の自由を憲法上保障)
6 豆知識	主要産品は、コーヒー、砂糖、バナナなどで、主要輸出産品の7割近くを占める。マヤ遺跡やアティトラン湖、キリグア遺跡公園などの観光地もあるので、観光産業分野も盛ん。